

# むくのきだより 5月号



令和8年4月30日

港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

## 3年保育スタート1か月 ～子供たちが育つ赤羽幼稚園～

園長 中村 美奈子

園庭を吹き抜ける爽やかな風の中、赤羽幼稚園の鯉のぼりと、年長ゆり組の子供たちのカラフルな手作り鯉のぼりが元気に泳いでいます。年中さくら組と年少ひまわり組の子供たちは、自分が作った鯉のぼりを手に持って、笑顔いっぱい走っています。子供たちの健やかな成長を願い、子供たちが通る廊下に、かぶとも飾りました。

入園・進級してから1か月が経ち、子供たちが幼稚園生活に慣れてきた様子が見られます。

4月の「なかよしになる会」では、年長ゆり組の子供たちが、入園してきた年中さくら組と年少ひまわり組のために、別々の会を開き、歓迎の気持ちを伝えました。ゆり組さんが優しい言葉をかけ、ねこまるダンスを見せたり、歌をプレゼントしたりしました。年下の子供たちが、興味をもって見てくれたり、一緒に踊ったりしてくれたりしたことが、とても嬉しそうでした。年長ゆり組の子供たちは、年中さくら組の子供たちと一緒に4月の誕生会をしたときも司会を頑張りました。日々の生活の中でも、朝の支度を手伝ったり、お休み調べをしてあげたりと、年長としての役割があって大忙しですが、どこか誇らしげに取り組んでいます。

年中さくら組の子供たちは、朝の支度も自分でできるようになってきました。どこにどんな遊び道具があるかも分かってきて、好きな遊びに夢中になっています。その中で、他の子と言葉を交わしたり、一緒に遊んだりする様子も見られます。園庭の砂場でも、いろいろな道具をつかって、一緒に大きな穴を掘ったり、お料理ごっこをしたりしていました。

年少ひまわり組の子供たちは、先生に手伝ってもらいながら、幼稚園生活を覚えてきました。朝の支度やトイレ・手洗い、園庭に出るときの靴の履き替えも、自分でやろうと頑張っています。生活や遊びの中で、先生や友達の様子に関心をもったり、話しかけたりする姿も見られます。4月の誕生会で担任の先生が紙芝居を読むと、にこにこして見たり、「おおきく、おおきく、おおきくなあれ」と一緒に声を出したり、ケーキをぱくぱく食べるまねをしたりしていました。

毎日、教職員は子供たちが帰った後、その日の様子を思い返しながら、翌日のための仕掛けをします。例えば、遊びが続いたり広がったりするように新たな材料を加えておいたり、子供同士の関わりが生まれるように遊具を配置したりします。これからの季節は、園庭の植物も大きく育ち、生き物も集まってきます。子供たちが元気に園庭探検に出かけたり、思いっきり体を動かして遊んだりできるように環境を整えます。子供たちが「興味・関心をもつ」「好奇心を抱く」「やってみたい！」と思う、たくさん楽しい仕掛けを教職員みんなで作っていきます。



